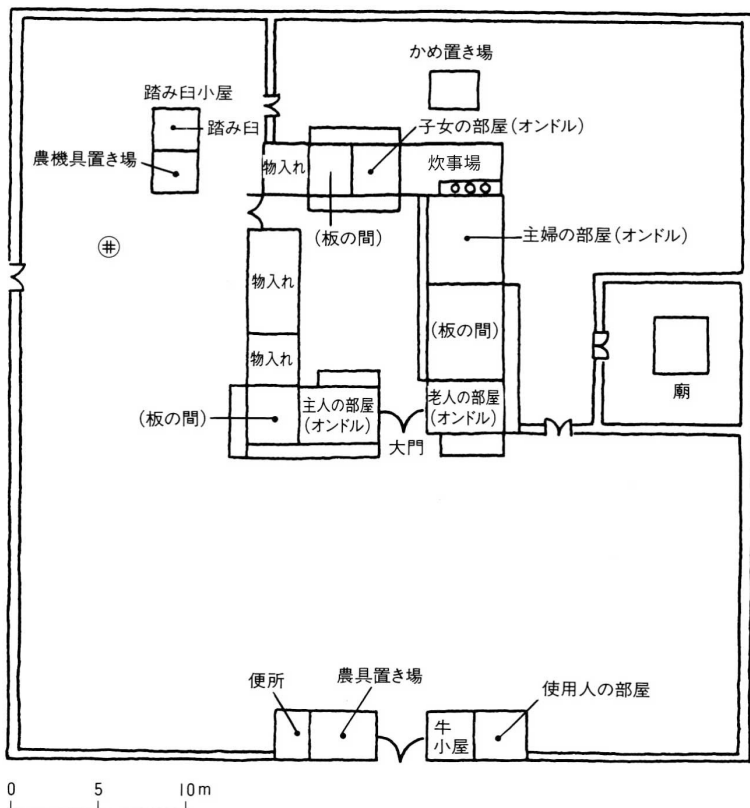


韓国 地主の家

韓国のほぼ中央部、慶尚北道けいしょうほくどうの山村で、かつての地主じぬし（両班やんぱん）が1937年に建てた家いちくを移築ふくげん、復元ろしました。口の字形の母屋には、主人の部屋と主婦の部屋が棟むねを分けてあります。これは、「男女七歳にして席同じからず」という儒教じゆきやうの教えもとに基づくものです。



👉 くらべてみよう～見学のポイント

地主の家と農家は、慶尚北道の同じ村に建てていたものです。家のつくり、材料、広さなどからさまざまな違いちがひを見ることができます。2つの家をくらべて、どこが違うのか・どうして違いができるのかを考えてみましょう。

かいてき きょしつ
快適に住まう：季節に合わせた居室

部屋の床には、土間、オンドル床、板床の3種類があり、土間は物置に、オンドル床と板床は居室に使います。オンドル床の間は、熱を逃がさぬように寒さ対策をこらした冬用の部屋で、板床の間は少しでも風が入るように暑さ対策をほどこした夏用の部屋です。

ゆかたんぼう
オンドル ー冬用の床暖房

オンドルとは床暖房のことです。床下に石を並べて数本の溝をつくり、この溝の天井に平らな石を置き、煙の通り道とします。天井の石の上に粘土を叩いて平らにし、その上に紙を貼り、さらに油のついたオンドル紙を貼ります。

溝を通った煙が石と粘土と紙を通して床に熱を伝えます。煙を発生させる焚口と、トンネルを通った煙が出ていく煙突の間の勾配のつけ方が難しく、それにより床の暖かさが違ってきます。

オンドル床の間と板の間では、床のほかにもそれぞれの季節に合わせた工夫がほどこされています。どんな工夫があるかがしてみましょ。🔍

ヒント：天井/かべ/とびら

